

# ヨコハマ人・まち

第20号

## まちへ人がまちをつくる

発行：横浜市 都市整備局 地域事業部 地域整備支援課 TEL045-671-2696 FAX045-663-8641  
Email: tb-chiikishien@city.yokohama.jp

### 【ヨコハマ人・まち 目次】

- ピオトープのある子どもの広場が完成～住民発意の「殿ヶ谷こどもひろば」
- 学校と環境活動団体の協働をめざして～「学校を拠点に地域でつながる環境行動研修」報告
- よこはまのまちづくり活動情報（募集案内）

# ピオトープのある 子どもの遊び場が完成

## 住民発意の「殿ヶ谷こどもひろば」

### ●広場だけだった公園から、住民発意の子どもの遊び場へ

横浜市南区永田東。北永田バス停から数分歩いた住宅街の一角に、住民たちが、アイデアを持ちよって整備した「殿ヶ谷こどもひろば」が完成し、11月26日（日）に完成セレモニーが行われました。

「殿ヶ谷こどもひろば」は、以前は古いバスを集会所として使っていたので「バス公園」と呼ばれていました。バス公園は深い緑のある公園でした。5年ほど前に、地元の有志が南区役所へ公園を改良する話を持ち込みましたが、具体的な整備にまでは至らないままでした。

### ●ヨコハマ市民まち普請事業で「子どもの遊び場、ピオトープづくり」が実現

昨年（2005年）に、南区役所から、都市整備局で「ヨコハマ市民まち普請事業」が行われることになり、対象事業を公募すると知らされた永田町上第三町内会では、以前からある公園内の湧水を活用すれば、ホタルの生息も夢



じゃないという思いで、「子どもの遊び場、ピオトープづくり」と名づけて「まち普請事業」に応募し、採択されたのです。

応募をきっかけに、永田町上第三町内会会長の谷内さん、公園の地権者の松本さん、副会長の川井さんの三人が中心となって「ピオトープづくり」実行委員会を設立しました。

このピオトープが、子どもたちをはじめ住民にとって、身近なふれあいの場となつてほしいと、「まち普請事業」に申請する段階から、地域との連携を試み、「もっと親しみやすい公園にして欲しい」など地元住民の意見を取り入れ、1年を経た今、バス公園は「殿ヶ谷こどもひろば」として、リニューアルオープンすることになりました。

※まち普請事業への応募から整備の経緯については、「ヨコハマ人・まち」第16号で、谷内町内会長の経験談として掲載させていただいています。

[http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/bac\\_k\\_num/no16.html](http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/bac_k_num/no16.html)

### ●子どもも大人も参加した広場の整備

廃材を利用した遊具や階段状の3段階の池、ピオトープの主な整備は業者が施工しましたが、その他の整備は永田小・中学校の児童・生徒たち、PTAや町内会が関わりました。一人ひとりがバケツで土を運び、固めた築山づくりは総合的学習の時間の授業の一環としても行われました。

こうしたボランティアの総数は200人におよび、ひろばを通じて世代を越える顔なじみが増え、日常的に挨拶を交わす機会も増えました。「このひろばを昔ながらの遊びを伝えていく場としていきたい。」との声もあります。ひろばが、地域の歴史の伝承の場として、またお互いに助け合う多様な関係が生まれる場となっていくことで、地域全体の魅力が高まるのではないのでしょうか。

### ●いよいよオープン!

セレモニーでは子どもたちの手で、めだか、金魚、鯉が棲み分けできるよう別々の池に放流されました。子どもたちは身を乗り出して池をのぞきこみ、魚の動きに夢中になっていました。これからの利用にあたっての注意事項の説明には、元気よく「はーい!」。永田小学校1年生がテープを引き、川井さん自らが彫った新看板がお披露目されました。

ひろばの入り口右手には川井さんが作った水車も回っています。セレモニーに集った人たちには、地元のボランティアグループ「ディサービスグループ・きりんの会」による甘酒が振舞われ、手製のキーホルダーも配布されました。

### ●これからのひろば

セレモニーの1週間後に再び訪れると、真紅に色づいた紅葉が、周りの緑とあいまって、ひときわ目を引きまします。今までは素通りだったご近所さんも、最近はひろば内を散歩するようになりました。

ひろば内にはネコヤナギ、桜、アザミ、ホトトギス、セリ、フキ、ハンゲショウ、ホタルブクロ…などの樹木や野草が生え、四季を通して楽しめます。主な木には、小学生が作った看板がかかっています。裏側には木の説明も事細かに書いてあります。今後、焼き芋や鯉の吹流し等のイベントも盛り沢山に予定されています。

これから多くの植物や昆虫、魚が自然発生的に生息し、子どもの歓声が響くにぎやかなひろばとなるでしょう。子どもたちには「自分たちのひろば」として心に刻まれ、かつてのバス公園を知る大人たちにとっても親しまれる、まちの宝物となるのではないのでしょうか。



# 学校と環境活動団体の協働をめざして

〜環境ボランティア団体研修  
学校を拠点に地域でつながる環境行動研修「報告」

11月21日（火）・28日（火）・12月5日（火）の全3回で、横浜市環境創造局と横浜市市民活動支援センターが共催し、環境ボランティア団体研修「学校を拠点に地域でつながる環境行動」を開催しました。

## ●学校教育の中での“環境教育”とは ～学校から市民活動団体に求めること

横浜市教育委員会や小学校教諭からは、学校教育の中での環境教育の現状と、環境活動団体に求めることが報告されました。

環境活動団体が小学校の総合的学習の時間で子どもたちへの体験的な環境学習指導をすること（出前講座）は横浜市でも少しずつ定着し始めていますが、環境活動団体が学校の授業に関わるのは、それほど簡単なことではありません。

学校には、カリキュラムがあり、総合的な学習の時間以外は、子どもたちの学習内容は年度当初にほぼ決まっており、子どもたちはタイトなスケジュールの中で学校生活を過ごしているからです。

とはいえ、環境活動団体と協力することによって、子どもたちの知的好奇心や興味をかきたてる学習が展開できることも多々あります。小学校の教諭からの報告では、川の生き物調べなどの身近に感じられる体験学習の例が紹介されました。子どもたちの発達段階に応じたわかりやすい言い回しが必要だとアドバイスをもらいました。

## ●学校と進める環境教育 ～学校と環境活動団体の連携事例から

横浜でも、体験プログラムなどのノウハウを持つ団体が、教育の現場である学校と互いの長所を生かして、より効果的な環境教育を実施できるよう取り組んでいます。

事例として紹介された「子どものためのオープンハウス」と「ナウシカの会」は、ともに生活という素材を利用し、小学校の総合的な学習に協力しています。

例えば、「子どものためのオープンハウス」は、太陽や風など自然の力を活かしたすまい方をテーマに環境学習を行っており、建物に見立てたペットボトルを電球の近くに置き、温度変化を測定するなど、具体的に体感しながら子どもたちの知識と関心を深める授業を展開しています。

「ナウシカの会」では、自分たちの生活と森がどうつながっているのかに気づくことができるような授業を行っています。参加対象は小学生1～6年生の全学年。間伐材を使った工作を取り入れ、楽しみながらの授業を心がけているそうです。

## ●学校と環境活動団体の連携と協働に向けて

学校と環境活動団体が連携するためには、各学校には独自のカリキュラムがあることを環境活動団体が理解し、子どもの発達段階に応じたプログラムを用意することが必要です。また環境活動団体と学校が連携し、教職員と綿密な打合せや準備を重ねることも不可欠なようです。

学校が環境活動団体に協力をお願いするきっかけの多くは口コミだそうです。

教員と環境活動団体がお互いに知り合える交流を求める意見も目立ちました。



## 洋の建築 和の建築

- 日本の風景を創ってきた洋と和の建物、その魅力を探ります。
- 日時：2007年1月20日(土) 10:00~12:00(受付9:30~)
  - 場所：神奈川県民ホール大会議室6F
  - 内容：建築はじめて物語 国立科学博物館 清水慶一
  - 参加費：1000円
  - 主催：ヨコハマ洋館探偵団
  - 申込み・問合せ 北村 (045-433-7870)、森 (045-433-9677) 碓井 (045-771-0541)、篠原 (045-401-9504)

## 1月の侍従川クリーンアップ

- ゴミひろい・草刈など
- 日時：2007年1月21日(日) 9:00~
  - 集合：大道小学校
  - 場所：侍従川の流域
  - 申込み方法：FAXまたはE-MAIL
  - 持ち物：帽子、タオル、飲み物、川に入る格好で、軍手(必要な人)
  - 問合せ・申込み先：ふるさと侍従川に親しむ会 担当 長橋
  - ・ TEL& FAX:045-781-4042
  - ・ jr-nagahashi@seapple.icc.ne.jp

## 市民活動支援センターの地域展開のあり方を考える...区版市民活動支援センター報告検討会

- 日時：2007年1月22日(月) 18:30~21:00
- 会場：横浜市民活動支援センター 4階 研修室1・2
- 対象：市民活動支援センター事業に関係のある方、または市民活動支援に関心のある方
- 定員：70名 ■参加費：無料
- 主催：横浜市民活動支援センター
- 申込み方法：「区版市民活動支援センター報告検討会参加申し込み」と明記の上、下記項目を、支援センターまで、電話、FAX、メールにてお知らせください。①氏名 ②住所 ③電話番号 ④e-mail ⑤所属
- 申込み先 横浜市民活動支援センター 担当：川崎・吉弘
- ・ TEL：045-223-2666 FAX：045-223-2888
- ・ E-mail：a.kawasaki@npo-c.city.yokohama.jp

## 横浜の魅力とまちづくり(田村明氏と横浜を語ろう)シンポジウム

- 戦後、横浜は米軍による接収、都市の無制限なスプロール化による乱開発、みなとみらい2.1計画の推進、ハブ経済とその破綻による中心市街地の衰退など、様々な課題の都市問題を抱え、それを市民と行政の知恵で乗り切り、現在の姿にまで発展してきました。そこで、これらの問題を振り返るとともに、横浜の魅力は何なのか、今後の魅力あるまちづくりを進めるためには何か必要かということを田村明氏を中心に話していこうと考えています。
- スピーカー
  - ・ 田村明(法政大学名誉教授、元横浜市企画調整局長・赤煉瓦ネットワーク顧問)
  - ・ 松井 雅彦(元都市整備公団、元横浜みなとみらい2.1常務取締役)
  - ・ 中川 憲三(NDCグラフィックス代表取締役)他
  - 日時：2007年1月27日(土) 14:00~17:00
  - 場所：ZAIM(旧関東財務局)3階シアター(中区役所隣り)
  - ・ 045-222-7030 ■参加費：500円
  - 主催：横浜まちづくり研究会 赤煉瓦切り込み隊(赤煉瓦ネットワーク事務局)
  - 連絡先：横浜市開港150周年創造都市事業本部
  - ・ 中原 045-671-3506 E-mail：nakart@wm.pdx.ne.jp

## 家庭の省エネ・自然エネルギー入門講座

- 家計の助けにもなる「家庭の省エネ」、今注目されている「自然エネルギー」を楽しくおいしく学びませんか?
- 1日目 身近にせまる温暖化と家庭の省エネ
  - 日時：2007年1月31日(水) 13:30~16:00
  - 場所：鶴見区役所6階8号会議室
  - 内容：身近に迫る地球温暖化のお話とビデオの上映、省エネグッズ体験、いろいろ省エネ体験談 など
  - 2日目 自然エネルギーの話と太陽光発電の見学
  - 日時：2007年2月23日(金) 13:30~16:00
  - 場所：鶴見区役所6階7号会議室と屋上
  - 内容：特別講演 藤井石根(明治大学名誉教授 NPO法人太陽光発電所ネットワーク代表理事) 太陽光発電のお話し、区役所の太陽光発電の見学と説明、ソーラークーラーの実演と説明、ヨコハマの大型風車のお話 など
  - 主催：横浜市環境創造局、横浜市地球温暖化対策推進協議会
  - 申し込み：1月25日までに、①セミナー名、②氏名、③住所、④電話/FAX番号を記載の上、申込先にFAX、E-MAIL、またはハガキにて。
  - お問い合わせ：環境創造局温暖化対策課FAX:045-641-3490 E-MAIL:ks-kyogikai@city.yokohama.jp
  - 参加費：無料 ■募集：35人(先着順)
  - 持ち物：筆記用具、マイカップ、フォーク、お皿

## よこはまのまちづくり活動情報(募集案内)

### みんなが主役のまちづくり

- 日時：2月17日(土)
- 問合せ：栄区政推進課 TEL 894-6962 FAX 895-1759
- [http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/fukuho/chikifuku\\_plan/index.html](http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/fukuho/chikifuku_plan/index.html)

### 都筑区地域福祉保健計画活動発表会(仮)

- 日時：2月17日(土)
- 問合せ：都筑区福祉保健課 TEL 948-2344 FAX 948-2354
- <http://www.city.yokohama.jp/me/tsuzuki/hukuho/tihukukeikaku/index.html>

### いたち川シンポジウム(仮)

- 日時：2月24日(土)
- 問合せ：栄区政推進課 TEL 894-8161 FAX 895-2260
- <http://www.city.yokohama.jp/me/sakae/kusei/kawa/index.html>

### コラボレーションフォーラム横浜2006

- 日時：平成19年2月24日(土)~25日(日)
- 会場：横浜にぎわい座(中区野毛町3-110-1) 他
- テーマ：「協働で築く住みよい地域社会 ~つながる市民、つなげる行政~」(仮)
- ☆コラボレーションフォーラム「みんなでコラボれ!」の詳細については、市民活力推進局市民協働推進部協働推進課のページ

<http://www.city.yokohama.jp/me/shimin/tishin/forum2006/index.html>をご覧ください。

### 磯子区地域福祉保健計画「スイッチON磯子」推進フォーラム

- 日時：3月15日(木)
- 問合せ：磯子区福祉保健課 TEL 750-2442 FAX 750-2547
- <http://www.city.yokohama.jp/me/isogo/jigyokik/keikaku1.html>

### 港北ふるさとサポート事業 活動報告・交流会「港北寄りあい処」

- 日時：3月17日(土)
- 問合せ：港北区政推進課 TEL 540-2230 FAX 540-2209
- <http://www.city.yokohama.jp/me/kohoku/suisin/kikaku/furusapo/index.html>

### まちづくりについての情報を募集しています。

まちづくりに関するイベントや参加者募集、地域で行っているまちづくりの取り組みなどの情報を下記までお知らせください。このページ及びメールマガジン「ヨコハマ人・まち」で広報のお手伝いをします。

情報提供のあて先：  
横浜市都市整備局地域事業部地域整備支援課  
TEL：045-671-2696 FAX：045-663-8641  
e-mail：tb-chiikimachi@city.yokohama.jp

「ヨコハマ人・まち」は地域まちづくりに関心のある方への転送、メールマガジンへのお誘い大歓迎です。メールマガジンの配信申し込み・停止は、下記のアドレスからお願いします。

<http://ml.city.yokohama.jp/mailman/listinfo/hitomachi>

### 「ヨコハマ人・まち」バックナンバーはこちら

[http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/back\\_num/index.html](http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/hitomati/back_num/index.html)